



4月2日、東京オリンピックの聖火リレー飯田市代表として毛賀区の赤羽徹さんがりんご並木を走った。「コロナで、もし人がいなくなったらどうしよう」と不安も感じていたが、「大勢の沿道の人たちの笑顔を見て自分も自然と笑顔になった。無事に大役を終えてホッとした」と話した。

元気と勇気をありがとう！



発行所
飯田市松尾公民館
編集人
松尾公民館広報委員会
印刷：龍共印刷株式会社



ようこそ松尾へ

常盤台区 塚原孝典さん 優子さん

優しさに包まれたご家族が常盤台にいられました。
ドクターとしてご活躍されるご夫妻にお話を伺いました。

自治振興センター職員異動

今年度の市役所人事異動により新しく3人が着任しました。

- 〇センター所長 若杉泰秀
- 〇センター職員 片桐 泉
- 〇保健師 金田夕可



- 〇センター所長 本島秀勇
(遠山郷振興担当)
- 〇センター職員 中島李野
(商業市街地活性化課)
- 〇保健師 矢澤美枝
(保健課保健指導係)

Q ご家族の紹介をお願いします。
A 孝典さん・優子さん（以下敬称略）子供たちに甘々のパパ、しつかりものママ、オシャレ好きで働の良い長女、甘えん坊の長男、家族のアイドル生後6ヶ月の次女です。次女は皆に可愛がられています。お兄ちゃんのチューを少し嫌がる自我が少し芽生えています。

Q 「上田と大分と飯田に同じとばあばがいるね」と嬉しそうに話しています。
A 孝典 上田では病院宿舎に住んでいたのが付き合いが病院の方ばかりでした。今は子供が緩衝材になるのか、近所付き合っても素直に出来ています。

Q どんなところが甘々なのですか？
A 優子 欲しがるものは何でも買ってしまいます。小児科医ですがお菓子も沢山、長女は最近まで虫歯で歯医者に通っていました。

Q ドクターとしての仕事は大変かと思えますが公私でのコロナの影響はどうですか？
A 優子 コロナ当初は妊娠中もあり、夫婦で別々の病院、子供たちも別々の園に通っていました。最前線の職場なので家庭に持ち込まない、拡げないようにピリピリしていました。今は育休中で1つの病院、子供たちも同じ幼稚園なので、やっていることは同じでも緊張はほぐれました。ただ、家族で出かける回数が増えました。ただ、家族で出かける回数が増えました。長女は来年少生なので、ランドセルも一緒に買いに行きたいです。

Q お二人の出身地は？
A 孝典 上田市です。
優子 大分県佐伯市です。

Q これからのことを聞かせて下さい。
A 優子 数年毎に異動のある仕事ですが、子供たちが松尾を気に入って、松尾小学校に行きたいと強く希望していますので、校区内でいつか開業できればと思っています。

Q 孝典 北信総合病院で一緒に働いていました。当時は科をまたいでの飲み会もあり、そこに接点がありました。
A Q 引越はいつ・どこから？
A 孝典 2018年4月、以前は松本市に住んでいました。

Q 松尾はどうですか？
A 孝典 最初に住んだ中野市は非常に雪深く、真冬は毎日雪かきでした。松本市も少し雪が降りますが、松尾はほとんど降らないので嬉しいですね。

Q 孝典 飯田市立病院小児科に赴任となりましたので、家族全員で引越しました。

Q 二人共お酒は好きなので、気軽に飲めるようになりたいです。
A 孝典 コロナ前は遠く県外にも出かけていました。二人共お酒は好きなので、気軽に飲めるようになりたいです。

Q 松尾に希望されることはありますか？
A 二人 松尾は人口が増えている地区と聞きました。いつまでも子供たちの声が響いている、子育てのしやすい明るい地域であって欲しいと願っています。

Q 孝典 飯田市立病院小児科に赴任となりましたので、家族全員で引越しました。

松尾の人口
男子 6,179人
女子 6,713人
計 12,892人
世帯数 5,209世帯
5月末現在

松風

コロナ禍となって1年余りが過ぎた。1年も経てば元の生活に戻っているかと思っていたが、いまだに先が見えない。当り前に思っていた事すべて、見直さなければ何もできない。計画をしても、いざ実行の段階になると延期、中止になることが多い。楽しみにしていたのに残念...と思うことばかりだ。殊に学校生活での行事の延期や中止による子供たちの悲しみは計り知れない。

▼昨年度は、このまつお新聞も発行するのに苦戦した。いつもは地区の行事などを載せているが、その行事が出来ない。見込みすらない。今までの当たり前が通用しない。改めて、どうあるべきか考える時が来たのかもしれない。

まつお新聞に限らず、すべてのものが「こうあるべき」という固定観念を取りのぞいて、一から考えるチャンスがきたと思えばいいのかもしれない。

▼三密を避け、ソーシャルディスタンスを保って...いざ何が出来るだろう。一人で考えても妙案は浮かばない。『三人寄れば文殊の知恵』とことわざにあるように、多方面からの意見を聞いてみたい。更に1年後、元通りの生活と言わなくても、楽しみにしている事が実行できる世の中になっただけでいい。

令和3年度 松尾地区のまちづくり 重点目標 ～第3次松尾地区基本構想から～

◎あなたと一緒に作る私たちのまち

- ・松尾への地域愛の醸成
- ・多様な価値観が共存する、新時代の地域コミュニティの創造
- ・住んで良かったな、と思えるまちへの進化

◎安全でゆとりのある生活空間の創出

鳩ヶ嶺八幡宮や天竜川を活かした新たな交流の促進

- ・リニア時代に向けた伊那谷の交通ネットワーク体系における地域内道路網の整備
- ・通学路、生活道路の安全の確保
- ・高齢者にやさしい移動方法の確立
- ・地域資源を活用した心ゆさぶる観光の推進
- ・工業、地上産業の活性化

◎豊かな自然と共存し、きれいで住みやすいまち

- ・積極的な空き家の活用
- ・ふるさとの川や里山について「学び」「守り」「親しむ」
- ・住民一人ひとりがゴミの分別・減量化の意識を持ち、きれいなまち
- ・歩行者に配慮し、交通事故のない安心して暮らせるまち
- ・ご近所同士のコミュニティを大切に、犯罪が起きないまち
- ・防災意識を高め、住民一人ひとりが助け合えるまち

◎人と人がつながり 心身ともに健康な あたたかいまち

- ・いつまでもいきいきと暮らせる健康なまち
- ・地域で子育てや介護を支えあう福祉のまち
- ・子どもが自然の中で自由に遊べる場所づくり
- ・食文化の継承と創造
- ・子どもから高齢者まで「スポーツあふれるまち」の構築

5月10日、松尾地区まちづくり委員会第1回総会が開催された。今年度の重点目標、各部の重点事項、活動事項が承認され、いよいよ令和3年度の活動がスタートした。

開催のあいさつで、宮澤直人まちづくり委員会会長は「4月の市議員選挙で当選された木下徳康さんと関島ゆりさんを相談役に迎えて、今年度のまちづくり委員会が始まりました。昨年度はコロナウイルス感染防止対策の影響もあり、各部の事業が縮小されました。国道151号、256号の交差点改良につきましては2027年度末、みさとや交差点におきましては今年度末完成予定であります。また、産業道路の検討など各部の事業にはより皆様のご尽力をいただきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひ致します」と話した。

令和3年度総会を終えて

松尾まちづくり委員会 会長 宮澤直人

5月10日、松尾地区まちづくり委員会の皆さんが、コロナ感染ステージ4の出席をいただき開催することができました。議案第1号2号3号を提案し審議をいただき賛同をいただき承認されました。誠にありがとうございます。誠にありがとうございました。会長として2期目最終年度になります。松尾地区民の皆さんのご協力をいただき職を務めてまいりたいと思っております。

松尾まちづくり委員会 会長 宮澤直人

5月10日、松尾地区まちづくり委員会第1回総会が開催された。今年度の重点目標、各部の重点事項、活動事項が承認され、いよいよ令和3年度の活動がスタートした。

開催のあいさつで、宮澤直人まちづくり委員会会長は「4月の市議員選挙で当選された木下徳康さんと関島ゆりさんを相談役に迎えて、今年度のまちづくり委員会が始まりました。昨年度はコロナウイルス感染防止対策の影響もあり、各部の事業が縮小されました。国道151号、256号の交差点改良につきましては2027年度末、みさとや交差点におきましては今年度末完成予定であります。また、産業道路の検討など各部の事業にはより皆様のご尽力をいただきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひ致します」と話した。

あなたと一緒に作る私たちのまち
第1回まちづくり委員会総会

令和3年度推進会議役員 地域の皆さんとよりよい松尾を作りましょう



総務部 副部長
菅沼順子(上溝)



総務部 部長
市瀬啓司(上溝)



公民館長
公民館育成部長
下條啓市(代田)



まちづくり委員会 副会長
鋤柄富男(寺所)



まちづくり委員会 副会長
池沼良明(上溝)



まちづくり委員会 会長
宮澤直人(代田)



健康福祉部 部長
仲村博夫(城)



環境衛生部 部長
久保田裕治(水城)



交通安全部 部長
久保田賢(水城)



生活安全部 部長
岡庭直茂(清水)



地域振興部 部長(久井区長)
丸山正敏(久井)



総務部 副部長
井藤幸子(新井)



地域振興部 明区長
田中博文(明)



地域振興部 寺所区長
鋤柄全(寺所)



地域振興部 新井区長
今村昭一(新井)



地域振興部 副部長(水城区長)
塩澤一広(水城)



地域振興部 上溝区長
佐藤純孝(上溝)



青少年健全育成会 会長
山崎嘉英(寺所)



財産区管理委員長
小木曾明(毛賀)



地域振興部 常盤台区長
福井公文(常盤台)



地域振興部 毛賀区長
田邊孝雄(毛賀)



地域振興部 代田区長
平松正好(代田)



地域振興部 副部長(八幡町区長)
鎌倉豊(八幡町)



地域振興部 清水区長
小澤千亮(清水)



特別推進員
緑ヶ丘中学校 PTA 副会長
浅井晃(代田)



特別推進員
松尾小学校 PTA 会長
仁木庄一(代田)



特別推進員
民生児童委員協議会長
小澤一仁(新井)



特別推進員
日赤奉仕団松尾分団長
下井真由美(城)



特別推進員
消防第5分団長
池田慎太郎(代田)



相談役
市議会議員
関島百合(毛賀)



相談役
市議会議員
木下徳康(毛賀)

清々しい一日の始まり

常盤台区 あいさつみまもり運動

5月19日、7時より常盤台区役員・各代表者約15人で「あいさつ・みまもり運動」を行った。

昨年はコロナウイルスの影響でこの活動は行われなかった。

6カ所に分かれてそれぞれ2〜3人を配置した車が止め、子供たちは手を上げ、見守りの人や止まってくださいドライバーに「ありがとう」と声をかけ、お互い笑顔になる場面も多かった。

横断歩道を渡りきった後には、「行ってらっしゃい」「行ってきます」

と大きな声が響いた。

長野善光常盤台区体育部長は「地域の子供たちとあいさつを交し、短い時間でも交流が持てることは嬉しい。朝は早い負担と感ずることはない」と語った。

八幡町区公会堂交差点では八幡町区・代田区の子供も通るが道幅は狭く車の通りも多い。電柱も多く車の避け合いには歩道に入り込む車もある。

参加者からは「電柱がなくなればと思うこともあるが、なくなったら歩道に寄せ車も出るだろう。車の通りが激しいのでかなり気を使うが、子供の安全に関わることが出来るのはとても嬉しい」という声もあった。



ちゃんと渡れるかな…心配

が、路線バスが通る見通しが悪い交差点もあり、子供たちに注意をうながしていた。

ランドセルを背負った小学生、時には中学生ともおはようございます」とあいさつを交わした。

車を止め、子供たちは手を上げ、見守りの人や止まってくださいドライバーに「ありがとう」と声をかけた！と声をかけた！とお互い笑顔になる場面も多かった。

横断歩道を渡りきった後には、「行ってらっしゃい」「行ってきます」

と大きな声が響いた。

長野善光常盤台区体育部長は「地域の子供たちとあいさつを交し、短い時間でも交流が持てることは嬉しい。朝は早い負担と感ずることはない」と語った。

八幡町区公会堂交差点では八幡町区・代田区の子供も通るが道幅は狭く車の通りも多い。電柱も多く車の避け合いには歩道に入り込む車もある。

参加者からは「電柱がなくなればと思うこともあるが、なくなったら歩道に寄せ車も出るだろう。車の通りが激しいのでかなり気を使うが、子供の安全に関わることが出来るのはとても嬉しい」という声もあった。

災害に備えて 松尾地区で内水排除訓練



排水訓練の様子

松尾まちづくり委員会は6月15日、飯田市や国、県と合同で、松尾地区を流れる支流2カ所(祝井沢川と金色洞川)の内水排除訓練を行った。

訓練は、ポンプの組み立て、排水、撤収などで、非常に安全かつ迅速に作業が行えるよう、住民ら約70

人が参加し操作などを確認した。

松尾地区は1961年(昭和36年)の「三六災害」で天竜川の氾濫による甚大な被害を受けた。大雨により本流が増水した時には逆流を防ぐために水門を閉じる。そのため行き場のなくなった水が氾濫するのを防ぐために、内水排除を行う必要がある。昨年7月の豪雨では実際に内水排除が行われた。

まちづくり委員会の宮沢直人会長は、「非常時にこれだけの人数が集まれるかどうか分からないが、このような訓練をすることによって住民の意識が高まればよいと思う」と話した。

磁石が浮いたよ

松尾小5年生が科学実験教室でマイナス196度の世界を知り



超電導ジェットコースターを体験

6月10日、松尾小学校体育館で5年生143人を対象に、松尾地区まちづくり委員会青少年健全育成会主催による出張科学実験教室が行われた。講師を「南信州飯田おもしろ科学工房」代表の三浦宏子さん(八幡町区)が務め、「松尾公民館松尾サイエンス」が協力。3者協働のこの実験教室は、体験することで科学の仕組みやおもしろさを知ってもらい興味を持つきっかけになればという思いから始まって10年目を迎える。

この日は、マイナス196度の液体窒素にダリアやビニールボール、バナナを入れるとどうなるかを観察。特定の金属を液体窒素で冷却することで電気抵抗がゼロになる現象を体験した。また、2027年開通予定のリニアモーターカーの仕組みについても学んだ。

液体窒素から取り出したダリアを手でつかむと児童からは「ポテトチップスみたいなのがする」「金属みたい」と。また、超電導によって磁石が宙に浮かんでいる様子を見て、「すごい!」「不思議!」なんて声が上がった。

育成会の山崎嘉英会長は、「子供たちが目を輝かせて実験に夢中になる姿を見られてよかった。これを引きつけて、科学に興味を持ってもらえたらいいですね」と話した。

超電導体験、浮いた磁石に感動

観察。特定の金属を液体窒素で冷却することで電気抵抗がゼロになる現象を体験した。また、2027年開通予定のリニアモーターカーの仕組みについても学んだ。

三六災害の教訓を忘れない 土砂災害防災訓練

松尾地区自主防災会は6月6日、土砂災害防災訓練を実施した。この日は、松尾公民館に設置した災害警戒本部と地区内12区との情報伝達訓練を中心に行い、土砂災害警戒区域(レッドゾーン)の住民へ避難を呼びかけるなどした。

今年5月には内閣府が避難情報に関するガイドラインを改定。避難に関する警戒レベルが5段階で示されるようになった。これにより従来の「避難勧告」は廃

令和3年5月20日から

避難指示で必ず避難

避難勧告は廃止です

警戒レベル	新たな避難情報等	これまでの避難情報等
5	緊急安全確保※1	災害発生情報(発生を確知した時に発令)
4	避難指示※2	避難指示(緊急) 避難勧告
3	高齢者等避難※3	避難準備・高齢者等避難開始
2	大雨・洪水・高潮注意報(気象庁)	大雨・洪水・高潮注意報(気象庁)
1	早期注意情報(気象庁)	早期注意情報(気象庁)

※1 市町村が災害の状況を把握し把握できない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。
 ※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることとなります。
 ※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じて普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。警戒レベル5緊急安全確保の発令を待ってはいけません!

避難勧告は廃止されます。これからは、警戒レベル4避難指示で危険な場所から全員避難しましょう。

避難に時間のかかる高齢者や障害のある人は、警戒レベル3高齢者等避難で危険な場所から避難しましょう。

内閣府(防災担当)・消防庁

楽しく安全に 科学体験

松尾地区で科学のおもしろさを伝えたいと活動している「松尾公民館松尾サイエンス」は、安全に楽しく科学を使って実験ができるように、スタッフ会を行っている。

6月11日は、26日に行われる松尾サイエンススクールのための事前準備を行った。

今回のメニューは「偏光板によるサイエンスショー」と「不思議な貯金箱」の制作。偏光板とは特定の方向に偏光または偏波した光だけに限って透過させる板である。スタッフは2枚の偏光板を重ねて、1枚を90度に傾けることによって光を遮断する特性を利用して文字当てクイズを考案したり、手品風のアレンジしたりして、スクールの参加者が興味を持ってもらえようにと意見交換をした。

貯金箱制作には、未就園児も参加することを予想して、安全にハサミなどの道具が使えるように工夫を凝らしていた。

松尾サイエンス代表の塩澤一友さんは、「不思議だな、おもしろいなと思う気持ちは、大人も子供も同じです。毎回、安全に楽しく科学を体験できるように、スタッフ一同頑張っています」と話している。

☆スタッフ募集のお知らせ☆
 松尾サイエンスは、地域の大人や子供を対象に、「かがく」を使って学んだり遊んだりしています。私たちと一緒に活動してみませんか? 詳しくは松尾公民館(22-0091)へ。

△R元年清水区出張サイエンス「ペーパータワーを作ろう」天井に届くほどのタワーができました

公民館事業計画

開催月	イベント・行事名	開催状況
4月	公民館総会	実施
5月	ニュースポーツ講習会	実施
6月	分館交流ニュースポーツ大会	中止
	松尾サイエンススクール	実施
7月	公民館報「まつお新聞」254号発行	
8月	図書館松尾分館夏のおたのしみ会	
	いいだ人形劇フェスタ2021	
	令和2年度松尾地区成人式	
10月	公民館報「まつお新聞」255号発行	
	第87回松尾地区市民運動会	
	松尾地区還暦の会	
11月	松尾サイエンススクール	
	飯田市女性バレーボール大会	
12月	みなみ信州駅伝・ロードレース大会出場	
	図書館松尾分館クリスマスおたのしみ会	
	松尾サイエンススクール	
	松尾踊ってみよう会	
1月	公民館報「まつお新聞」256号発行	
	令和3年度松尾地区成人式	
	分館交流ワンバウンドふらばーるバレー大会	
2月	松尾地区文化祭	
	第59回飯田市公民館大会	
	多文化交流会	
3月	公民館報「まつお新聞」257号発行	
随時	公民館分館役員研修会	
	本館委嘱委員研修会	
	松尾セミナー(松尾地区学習会)	
	松尾バレーボール前期・後期大会	リーグ戦として実施
未定	親子映画観賞会	

館長あいさつ

公民館育成部長 下條啓市

いつも公民館活動に皆さまの御協力、深く感謝申し上げます。

1期2年があつと言う間に過ぎました。振り返ってみると、台風とコロナで運動会は2年連続中止。総会での事業報告も文化、スポーツ、各方面で「中止」「中止」で心苦しいことばかりでした。「形を変えてでも何とかしたい」「そんな厳しい規制の中でわざわざ開かなくても」相異なる思いが入り混じる毎日が、未だ続いてお

ります。でも基本は地区民の安全第一。万にひとつでも有つてはいけないと思います。かつて世の中の恐いものは「地震、カミナリ、火事、

親父(女房)」と言われておりました。ところが今や時代は移り「コロナ、地震、線状降水帯、地球温暖化」の感があります。

三六災を経験したのは13歳の時、中学1年生でした。床下浸水の手当の最中、偶然に代田山の木が揺れるのを見ました。と同時に地滑りが起き、あのドシャ降りの中で上がった潰れた家の土煙が忘れられません。災害は忘れた頃にやってくる。60年が経ちました。備えに抜かりは有りませんか。一刻も早いコロナの鎮静とワクチンの接種に期待しましょう。

令和3年度 公民館委員名簿

	分館長	副分館長	副分館長	分館主事	文化委員	スポーツ委員	広報委員
上溝	伊藤博隆	酒井成彦	木下明美	吉川康史	木下昭子	島英夫	小笠原哲也
久井	塩澤秀明	松枝弘晃		有川恵美	市瀬和寛	木下和士	中根昭登
水城	片桐善男			長谷部昭人	大島博志	古田宗紀	田畑秀幸
新井	新井敏男	康野千秋		森本武彦	吉川和夫	森本信太郎	今村博之
寺所	平沢秀樹	藤岡智弘		沢柳一輝	大沢和博	宮内博久	唐澤茂
明	松田智治	西澤光郎	水上和男	齊藤満士	田中潔	下平清治	仲村信治
清水	代田孝一			新井優	一ノ瀬博幸	一瀬茂雄	宮澤邦典
城	塩澤晃弘	湯澤敬	中島泰城	牧内文隆	竹村信之	田口孝俊	小池毅
八幡町	桐生康之助	志水徹	和地治男	杉山信彦	井川晃	松下達也	小澤英文
代田	田中利治			宮内康二	北澤進	田中和明	熊谷由美
毛賀	平栗和司	木下定雄		金田敬二	米山初巳	林国博	塩澤和夫
常盤台	平沢利夫			西尾敏郎	森下朗	長野善光	今村周一

館長委嘱			
文化	◎熊谷 吏花	○塩澤りょう子	○三浦 智生
	酒井 和久	森本 浩之	前沢 和江
スポーツ	◎浅井 晃	○藤本 亮直	○片桐 雅美
	田中 優喜	平澤みどり	※前川 正博
広報	◎松原 倫子	○木下 知代	○棚田 博士
	伊藤 秀夫	宮川 成彦	
総務企画	◎伊藤 俊光	○池田 稔梨	○宮下 伸一
	佐々木咲子	小西 淳子	市瀬 正二

◎委員長 ○副委員長
※松尾地区推薦
スポーツ推進委員

公民館活動始まるよー

 館長委嘱委員 酒井成彦(上溝)	 館長委嘱委員 市瀬正二(毛賀)	 館長委嘱委員 小西淳子(代田)	 館長委嘱委員 佐々木咲子(清水)	 館長委嘱委員 片桐真樹(城)	 館長委嘱副委員長 宮下伸一(上溝)	 館長委嘱副委員長 池田稔梨(清水)	 館長委嘱委員長 伊藤俊光(城)
 館長委嘱委員 竹内佳史(清水)	 館長委嘱委員 前沢和江(新井)	 館長委嘱委員 森本浩之(上溝)	 館長委嘱委員 酒井和久(常盤台)	 館長委嘱委員 多田井清(毛賀)	 館長委嘱副委員長 三浦智生(毛賀)	 館長委嘱副委員長 塩澤りょう子(水城)	 館長委嘱委員長 熊谷吏花(八幡町)
 分館選出委員 竹村信之(城)	 分館選出委員 一ノ瀬博幸(清水)	 分館選出委員 田中潔(明)	 分館選出委員 大沢和博(寺所)	 分館選出委員 吉川和夫(新井)	 分館選出委員 大島博志(水城)	 分館選出委員 市瀬和寛(久井)	 分館選出委員 木下昭子(上溝)
 館長委嘱委員 松倉進一(城)	 館長委嘱副委員長 片桐雅美(常盤台)	 館長委嘱副委員長 藤本亮直(城)	 館長委嘱委員長 浅井晃(代田)	 分館選出委員 森下朗(常盤台)	 分館選出委員 米山初巳(毛賀)	 分館選出委員 北澤進(代田)	 分館選出委員 井川晃(八幡町)

総務企画委員会

文化委員会

スポーツ委員会



分館選出
委員
森本信太郎 (新井)



分館選出
委員
古田宗紀 (水城)



分館選出
委員
木下和士 (久井)



分館選出
委員
島英夫 (上溝)



館長委嘱
委員
塩澤郁子 (城)



館長委嘱
委員
前川正博 (寺所)



館長委嘱
委員
平澤みどり (城)



館長委嘱
委員
田中優喜 (明)



分館選出
委員
長野善光 (常盤台)



分館選出
委員
林国博 (毛賀)



分館選出
委員
田中和明 (代田)



分館選出
委員
松下達也 (八幡町)



分館選出
委員
田口孝俊 (城)



分館選出
委員
一瀬茂雄 (清水)



分館選出
委員
下平清治 (明)



分館選出
委員
宮内博久 (寺所)



分館選出
委員
中根昭登 (久井)



分館選出
委員
小笠原哲也 (上溝)



館長委嘱
委員
宮川成彦 (毛賀)



館長委嘱
委員
伊藤秀夫 (八幡町)



館長委嘱
委員
平栗猛 (城)



館長委嘱
副委員長
棚田博士 (水城)



館長委嘱
副委員長
木下知代 (明)



館長委嘱
委員長
松原倫子 (新井)

広報委員会



分館選出
委員
熊谷由美 (代田)



分館選出
委員
小澤英文 (八幡町)



分館選出
委員
小池毅 (城)



分館選出
委員
宮澤邦典 (清水)



分館選出
委員
仲村信治 (明)



分館選出
委員
唐澤茂 (寺所)



分館選出
委員
今村博之 (新井)



分館選出
委員
田畑秀幸 (水城)



松田智治 (明)



平沢秀樹 (寺所)



新井敏男 (新井)



片桐善男 (水城)



塩澤秀明 (久井)



伊藤博隆 (上溝)



分館選出
委員
今村周一 (常盤台)



分館選出
委員
塩澤和夫 (毛賀)

分館長



三船功基

公民館主事



平沢利夫 (常盤台)



平栗和司 (毛賀)



副分館長会長
田中利治 (代田)



分館長会長
桐生康之助 (八幡町)



塩澤晃弘 (城)



代田孝一 (清水)

どうぞよろしく
お願いいたします



おわび
前号3面「大岡裁き」弁天公事の記事で、「1793年」とあるのは「1739年」の誤りでした。お詫びして訂正します。

5月9日に小学校体育館で分館役員を対象としたニュースポーツ講習会で、新競技「ボッチャ」について行われた。今年はコロナ感染症もあり、各分館からの参加人数を絞って5人までとした。常時マスクの着用、プレイ時は手袋の着用などの感染症対策を行っての講習となった。今回初めて行う競技「ボッチャ」を3コート分けた体育館で、4分館ずつに分かれてそれ

松尾図書館

(公民館2階)
開館日 水曜 午後1～5時
土曜 午前10～午後5時
日曜 午後1～5時
本のリクエストも受けつけています。



つのボールをいかに近付けられるかを競う。

この競技は、パラリンピックの正式競技として行われており、激しい運動はない反面、知的な戦略及び技術力集中力が求められる。ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに赤・青のそれぞれ6球ずつ

ボッチャとは何？
ニュースポーツ
講習会で新競技

40余年のたくさんの思い出をありがとう

さようなら おやま滑り台

5月10日に松尾小学校のおやま滑り台（クライミングスライダ）とのお別れ会が行われた。

この滑り台は1977年（昭和52年）度の6年生が卒業記念に作成したもので、46年もの間、多くの子どもたちが登ったり滑ったりぶら下がったり、たくさんの思い出を作った。



記念のラスト滑降

この日、児童会三役から思い出と感謝を伝える作文の発表があった。

50代までの人たちも思い出があるこの滑り台。無くなってしまうのは残念であるが、いつまでも大事な松尾小学校の思い出として記憶に留めておきたい。

5月13日、おやま滑り台は解体された。

（写真提供…松尾小学校）

新緑の中、絶景を楽しむ 代田区

5月3日、天龍峡大橋そばを歩こう会が行われた。

昨年は新型コロナウイルス感染拡大のため中止となり今年も心配されたが、実施を知らせる早朝の花火の音が澄んだ青空に響いた。

集合時の検温を済ませて出発。伊那八幡駅から電車に乗り、天龍峡駅からそばを歩こう会に参加者67人が歩き出した。天龍峡大橋からは、新緑

に囲まれた中を走る電車と天龍川を見ることが出来た。遊歩道に入るとたつぷりの森林浴を楽しんだ。気持ち良く歩いていたが登り坂になると疲れが出る人もいて、足が重くなった時、子供たちから「がんばれ」と声が掛けられた。

天龍川に近づいたあたりでは、舟下りを楽しむ人たちに皆で手を振った。揺れに足がすくみながら、つづき橋を渡り終えると、コロナ終息を願って「しあ



舟に手を振る参加者

わせの鐘」を鳴らした。厚生部長の池田孝さんは「感染予防を最優先に考え実施した歩こう会でしたが、大勢の方に参加、協力して頂き無事に終えることが出来ました。誠にありがとうございました」と語った。

1年生を迎える会 上溝区

5月9日、上溝集会所で「1年生を迎える会」が行われた。コロナウイルス感染防止対策のためにドアや窓を開放し、入り口で検温と手指の消毒、参加者の氏名記入を行った。また、間隔を広く取って座るなどした。司会進行は6年生が担当。新1年生は10人、児童全員で43人が参加した。

まず初めに、囃子屋台保存会による子ども獅子舞が披露された。続いて、小学校PTA三石淳司支部長があいさつ。その後は新1年生が自己紹介し、一人ずつはじまりとした声で名前を言った。続いてのジャンケン大会は6年生が一人ずつステージに上がり、1対全員でジャンケン勝負。最初は全員立ち上がり、負けたら座る。最後まで勝ち残った児童がお菓子などの賞品をもらい、歓声が室内に響き渡った。

1年生は再びステージに上がり、記念品が渡された。コロナウイルス感染防止を考慮し短時間で終わらせるため、2年生から5年生はここで解散。最後に1年生と6年生で記念写真を撮り終った。

「地域行事が相次ぎ中止される中、久しぶりのイベントで子供たちが楽しいひと時を過ごせてよかった」と三石支部長は話した。



ちゃんと言えるかな

コロナに負けとれん！ 毛賀区

6月6日、松尾小学校グラウンドで「毛賀区伍組対抗ペタンク大会」が好天の中行われた。

区内の12組合から子供から大人まで127人、30チームが参加し12コートに分かれ優勝を争った。

新型コロナウイルスの感染拡大により人の集まる行事が相次いで中止となってきた中、アルコール消毒液や手袋を感染予防対策として準備し、区民に対してもマスク着用な



熱き一投！

2年ぶりに集まった参加者たちは競技を楽しむ傍ら、久しぶりに顔を合わせる友人らと会話したり、持ち寄った差し入れて英気を養ったりと、広いグラウンドに明るい声が響き渡った。

大会はおよそ3時間間及ぶ熱戦の末、2-11番組Aチームが優勝した。

獅子、寺所に舞う 寺所区

4月10日、春風が心地よい晴天の下、寺所区では鳩ヶ嶺八幡宮の春季例大祭に合わせ獅子舞の区内巡行が行われた。

当日は、昼過ぎに寺所コミュニティ消防センターに役員・獅子舞保存会のメンバー等、約70人が集まり、神事終了後、威勢よく巡行に出発した。



御神田お田植え 新井区

5月23日、鳩ヶ嶺八幡宮へ奉納注連縄用の御神田のお田植えが、新井コミュニティ消防センター北側の田んぼで行われた。

は、企画委員を中心に田と苗の準備が進められ、神事後の直会は中止とし、コロナ禍を踏まえて参加者を総代、世話人、区執行部、小学生4-6年生と限定、全員がマスクを着用して行った。

植えた稲は、草丈が長い農林24号。開始の花火を合図に神事が始まり、小学生のお田植えとすすみ、慣れない泥の感触に歓声が上がった。



そーっと そーっと

毛賀区

毛賀諏訪神社への奉納を目的とした御神田のお田植えが5月30日、「毛賀やらい会」のメンバー4人の手で行われた。

子供たちと高齢者の交流の場になればと、毛賀区内の小学生、高齢者クラブの



来年こそは賑やかに

をすることとなった。各伍組で決めた12か所で、「無病息災」「五穀豊穡」は勿論「コロナ終息」を特に願いながら舞手・囃子手が昨年の分も、と力強く舞を披露した。

道中、「頭がよくなりますように」と、獅子に頭を噛んでもらい大泣きする子、平気な顔の子等、みんなが和む場面も多々見受けられた中、滞りなく終わった。

今年は舞う場所も限られ、慰労会も行われなかったが「来年こそは、例年通りの春祭りが出来ますように」との声が多く聞かれた。

メンバーも参加し例年手植えで行っていたが、コロナ禍を受け、昨年に続き少数で機械を使って1時間程で終了した。

会では平成15年より毛賀諏訪神社への注連縄の奉納を始め、翌16年からは会長の川手孝夫さんの田んぼを「御神田」として借り、毎年もち米を収穫。

藁は注連縄の材料に、米は神事や小学校PTA行事の餅つき大会に使われる。